

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 波線部分①～④の中には、用法・はたらきが他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分①「ゲンジボタルやヘイケボタルの幼虫は、清流では生息できない」とあるが、「清流では生息できない」のはなぜか、その理由を、ホタルの幼虫とカワニナとの関係にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(三) 文中の に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、つまり イ、ところが ウ、ただし
エ、しかし

(四) 傍線部分②「それら」とあるが、「それら」の指し示す言葉を本文中から抜き出して書きなさい。

(五) この文章の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、ホタルの人工繁殖や放流を行ったり、川底のゴミや石までなくしたりすることが、ホタルの生息を維持するために必要な条件となる。
イ、「汚くなった川」を清流に改変することで、川に害虫や微生物が生息できなくなり、ホタルが生息するための適正な自然環境となる。
ウ、人間の美意識を自然界に持ち込んでホタルばかりを偏愛するのではなく、多種多様な動植物が存在する自然環境を維持すべきである。
エ、水が透き通った清流や、深山の水の冷たい溪流などは、種の多様性や生物の総量というものさしで計れば、非常に優秀な状態である。